

eYACHO for Business 4

バージョン移行ガイド

(MetaMoJi クラウドを利用しない)

第 1 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2018 年 1 月 22 日 ©2018 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、「MetaMoJi クラウドを利用しない」運用をしている場合の eYACHO for Business 4 へ移行する手順を説明しています。

eYACHO for Business 4 の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

名称	表記
eYACHO for Business 4	新バージョンのクライアントアプリケーション
eYACHO for Business Ver.3	Ver.3
eYACHO 管理ツール	管理ツール
eYACHO for Business Ver.2	Ver.2

参照先の表記

関連する機能や詳細について説明している項目を「→」に続けて紹介しています。

必要動作環境

データ移行は、以下のバージョン以降のクライアントアプリケーションが必要です。

クライアントアプリケーション	バージョン
旧バージョンeYACHO for Business Ver.3	3.0 Rev.4.2.13 以降
新バージョンeYACHO for Business 4	4.0 Rev.5.1.0 以降

バージョンの表記

バージョン表記は、ノート一覧画面のをタップすると表示されます。



目次

1	概要	4
1.1	データの移行	4
1.2	クライアントアプリケーションのバージョン	4
2	バージョンの切り替えとデータの移行	5
2.1	クライアントアプリケーションの導入.....	5
2.2	新バージョンへの切り替え	6
2.3	eYACHO for Business Ver.3 で移行データの作成	7
2.4	新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行	7
3	eYACHO for BusinessVer.2 をお使いの場合	8

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、eYACHO for Business Ver.3 (Ver.3) とは別のアプリケーションです。このため、自動でアップデートされません。

Ver.3 のノートで eYACHO for Business 4 で利用するには、Ver.3 と同じデバイスに eYACHO for Business 4 のアプリケーションを導入し、本書に記載の手順で移行します。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

移行可能なデータ

- 個人ドライブのノート・タグ・フォルダ・音声データ・マイアイテム・マイテンプレート
※ゴミ箱のノートは移行されません。
- ツールボックス設定
- mazec の学習・登録データや設定
- ノートの検索条件・コンテンツタグ検索条件・コンテンツタグプロパティ値の入力履歴など

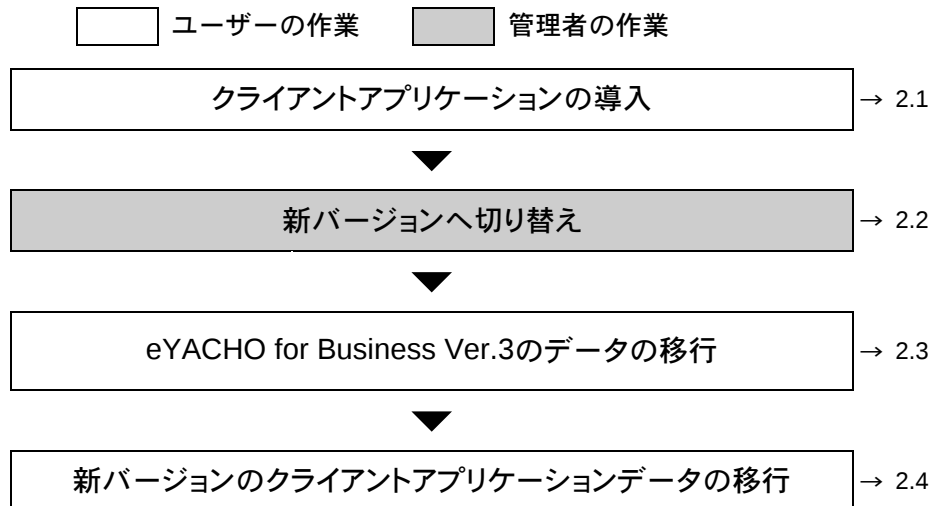
1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

1 つの法人 ID 内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が管理ツールでバージョンの移行を行う必要があります。

移行後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。



2.1 クライアントアプリケーションの導入

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。

導入後は、eYACHO for Business Ver.3 のデータを新バージョンへ移行します。

1. 新バージョンのクライアントアプリケーションを App Store からダウンロードし、インストールします。

2.2 新バージョンへの切り替え

作業者：管理者

管理ツールで新バージョンへの切り替えを行います。

※ サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。手順 4.のあと、通常、数秒から 1 分程度で終わります。

注意： 切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します

ただし、移行していないデータが残っている場合は、旧バージョンのクライアントアプリケーションを使用できます。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

クラウド版

<https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACH04.html>

2. ログイン画面が表示されたときは、管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました]をオンにします。



4. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

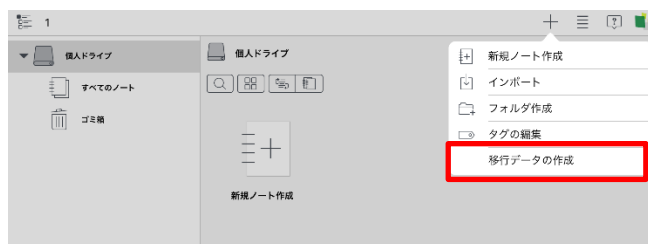
以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2.3 eYACHO for Business Ver.3 で移行データの作成

作業者：ユーザー

eYACHO for Business Ver.3 で移行データの作成を行います。

1. eYACHO for Business Ver.3 を起動します。
「ご利用中の製品のバージョンがサーバー設定と異なります。
新しいバージョンをご利用ください。」とメッセージが表示されます。
2. ノート一覧画面で + > 「移行データの作成」をタップします。



移行開始のメッセージが表示されます。

3. 「OK」をタップします。
移行データが作成されます。

以上で、eYACHO for Business Ver.3 からの移行データの作成は完了です。

2.4 新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行を行います。

1. インストールした後、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
2. ノート一覧画面で + > 「移行データのインポート」をタップします。



移行開始のメッセージが表示されます。

3. 「OK」をタップします。
データが移行されました。

3 eYACHO for Business Ver.2 をお使いの場合

eYACHO for Business Ver.2 (Ver.2) から直接 eYACHO for Business 4 にアップデートすることはできません。

eYACHO for Business Ver.3 に Ver.2 のデータを移行してから、eYACHO for Business 4 のアプリケーションを導入し、本書に記載の手順で移行します。

Ver.2 から Ver.3 への移行手順は、eYACHO for Business Ver.3 バージョン移行ガイド
(MetaMoj i クラウドを利用しない)

(http://product.metamoji.com/manual/yacho_b3/document/eYACHO3_migration_guide_nocloud_ja.pdf)

をご覧ください。